

# 景気景況調査報告

## (第3回)

平成28年 7～9月期 実績  
平成28年10～12月期 見通し

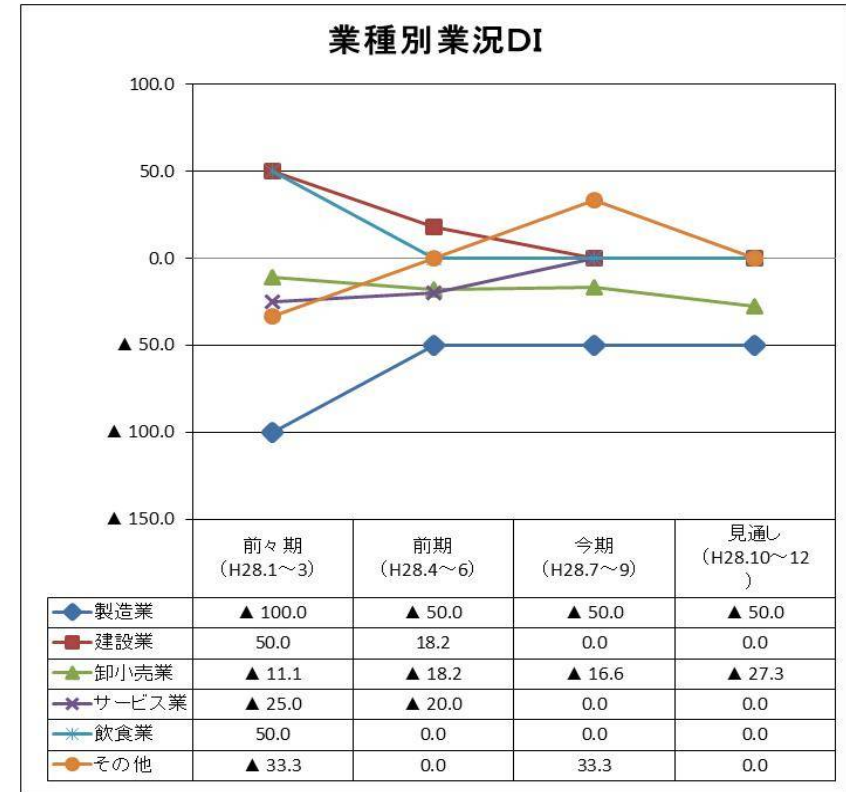
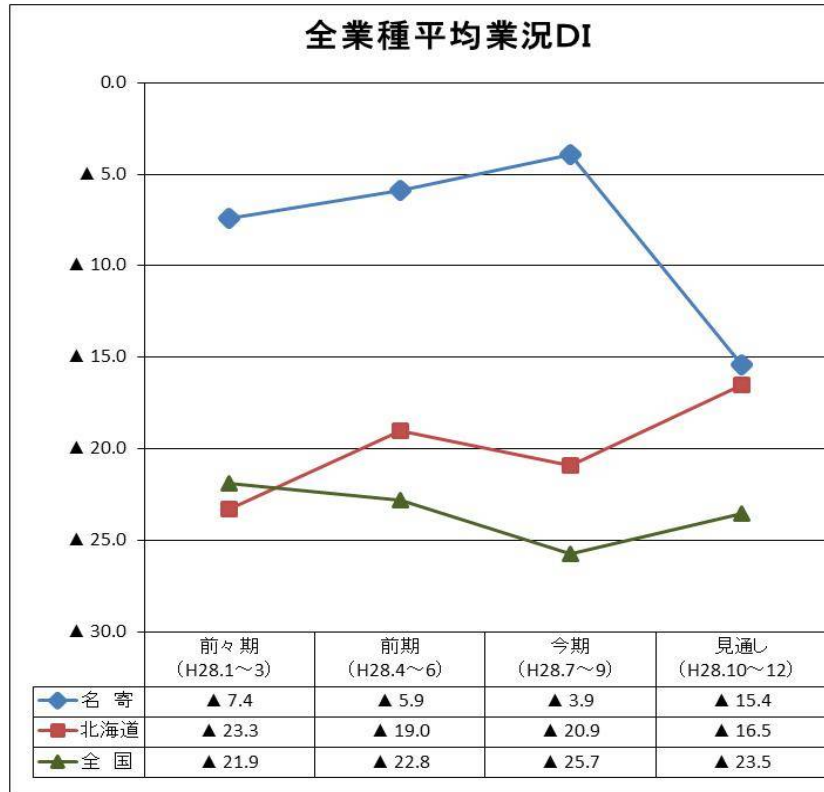
平成29年1月

名寄商工会議所

## 調査要領

- 調査対象期間 平成28年7～9月期の実績及び平成28年10～12月期の見通し
- 調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業、飲食業、その他の6業種に分類し、売上高、採算、仕入、従業員、業況、資金繰りの6項目について調査を実施。
- 調査対象 当所議員、正副部長及び青年部会員企業（一部抽出）67社【回収率 38.8%（26社）】

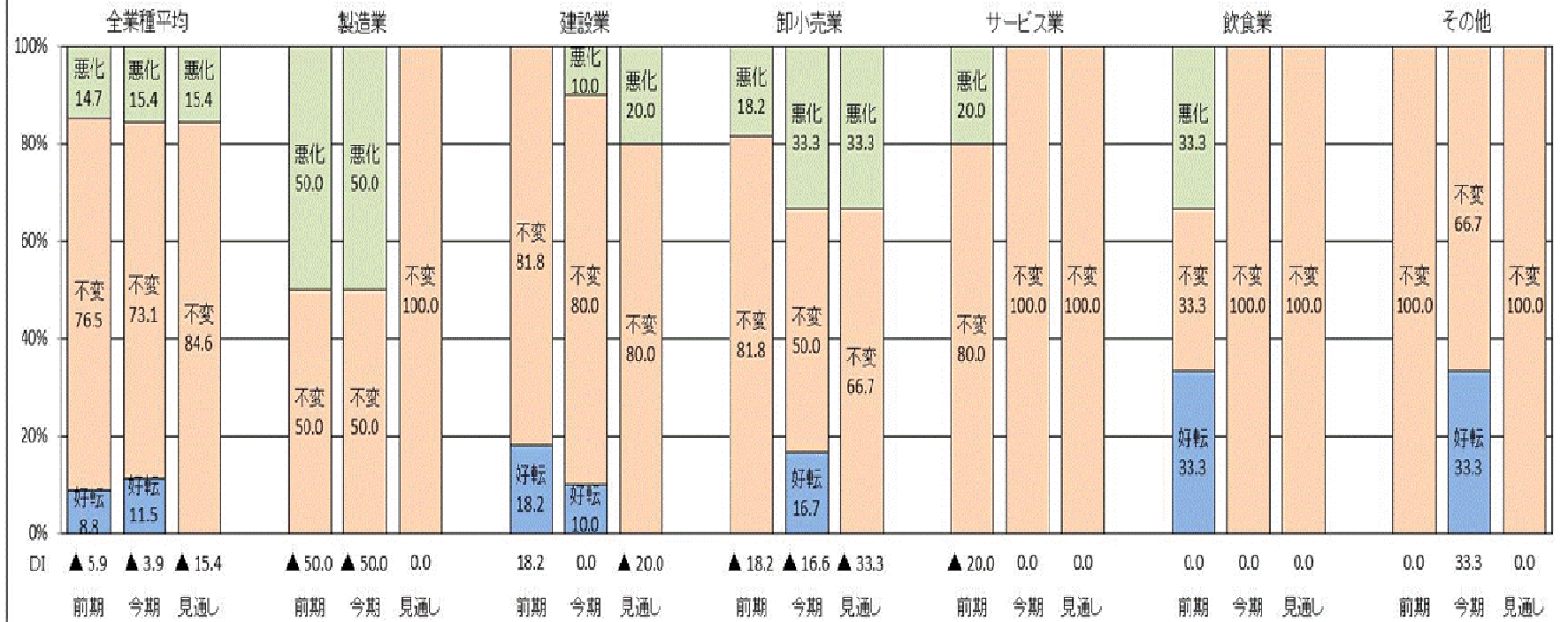
## 調査結果



DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・今期、全業種平均で 3.9ポイントと前回の調査に比べマイナス幅が2ポイント縮小となるが、見通しでは 15.4ポイントとマイナス幅が 11.5ポイント拡大となった。建設業で公共工事が見込めない、卸小売業で、先行きが見込めない・売上減少の声。
- ・北海道（道商連調査）の景気と比較すると、今期は17ポイント上回るが、見通しではほぼ同じ状況となった。
- ・全国（日商調査）の景気と比較すると、今期は21.8ポイント上回り、見通しでも8.1ポイント上回っている。
- ・北海道、全国の見通しで、今期より改善される見通しだが、当地域においては悪化の見通しとなっている。
- ・業種別では、建設業、卸小売業、その他業種で変化が見られるが他の業種については横ばいの結果となった。

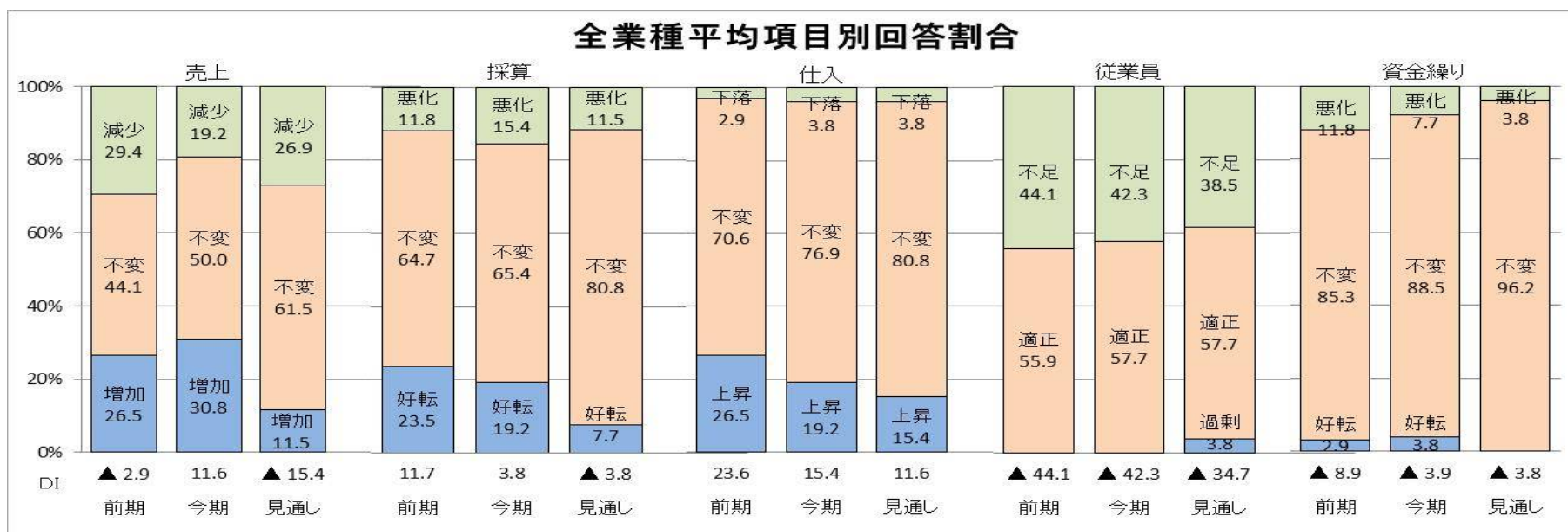
## 業種別業況回答割合



### DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・製造業～今期「不変」「悪化」が50%と前期と変化はない。見通しでも不変100%となっている。
- ・建設業～今期「好転」10.0%と前期より8.2%減少。見通しでは、公共工事の見通しがづかず「悪化」が増加。
- ・卸小売業～経営改善により結果に繋がった回答があり、今期「好転」16.7%と増加したが、売上の減少等により「悪化」の回答が33.3%と前期より増加している。見通しで「不変」66.7%と今期より16.7%増加。「悪化」は33.3%と変化はなかった。
- ・サービス業～今期「不変」100%と前期より「悪化」が減少。見通しでも「不変」100%と変化は見られない。
- ・飲食業～今期「好転」「悪化」の回答がなく「不変」100%となった。見通しでも「不変」100%となっている。
- ・その他～今期「好転」33.3%と運送業で天候不順により業況が好転した回答。見通しでは「不変」100%となった。

## 全業種平均項目別回答割合



### 売上 DI

今期11.6ポイントと前期よりも14.5ポイント縮小しプラスとなった。しかし、見込みでは 15.4ポイントと今期より27.0ポイントマイナス幅が拡大。

- [増加の要因] ・受注、売上の増加（建設、卸小売業）
- [減少の要因] ・発注の減少（製造、建設、卸小売）

### 採算 DI

今期3.8ポイントと前期より7.9ポイント縮小。見込みでは 3.8ポイントと今期より7.6ポイントマイナス幅が拡大。

- [好転の要因] ・利益が取れる商材の売上が多かった（卸小売業） ・新規顧客の拡大・営業費効率の向上と（その他）
- [悪化の要因] ・売上減少（製造・卸小売業） ・人口減少（製造業）

### 仕入 DI

今期15.4ポイントと前期より8.2ポイント減少。見込みでも11.6ポイントと今期より3.8ポイント減少と、仕入価格の上昇は減少傾向にある。

- [上昇の要因] ・都市部の景気に価格が合わせられる（製造）・労働者不足による単価アップと冬期間による経費悪化（建設）

### 従業員 DI

今期で 42.3ポイントと前期よりも1.8ポイント。見込みでは 34.7ポイントと7.6ポイント縮小するが、従業員不足の問題は以前として続いており、特に建設業による不足の声が多い。

- [不足の要因] ・募集しても集まらない（建設）、慢性的な不足（建設）、今まで高齢の労働者が多かった事と高齢者の離職（建設）
- ・夜勤勤務などを謙ら事など（その他） ・定年退職と新規採用のバランスが良く回っていない（その他）

### 資金繰り DI

今期で 3.9ポイントと前期より5.0ポイント減少。見込みでも 3.8ポイントと横ばいとなっている。

- [悪化の要因] ・役員からの借入で対応（卸小売）